FM77.1MHz RAINBOW FM RAINBOW FM

SEPTEMBER 長月 2023

いよいよ新学期！
スポーツ、芸術、
学び、食 etc.
充実の秋を
堪能しよう♪

WELCOME TO THE NIJIRAJI-STUDIO !!

2023.7.18『にじらじステーション』
自衛隊諫早地域事務所
広報官 松本さん・我謝所長

2023.7.21『チャレンジボックス』
諫早市障害福祉課 川岡さん・湯立さん
鎮西学院大学 金文華教授

2023.8.1『にじらじステーション』
自衛隊諫早地域事務所
広報官 加藤さん・横田さん

2023.8.4『チャレンジ・ボックス』
ソプラノ歌手
木本真唯子さん

2023.8.7『にじらじステーション』
シーハットおおむら市民参加舞台「Let's エジョイミュージカルワールド」の皆さん

2023.8.8『にじらじステーション』
諫早市地域おこし協力隊
木下侑香さん

2023.8.11『てをつないでおさんぽ』
としょかん広場　野田さん
いちごの会　中野さん

2023.8.11『face to face』
『face isahaya』８月号
表紙モデル 森 萌子さん

2023.8.11『チャレンジボックス』
諫早ビッグジャズオーケストラ
村田好隆さん

2023.8.15『にじらじステーション』
テーマパーク発アーティスト
道添祐一さん

2023.8.15『にじらじステーション』
はやした歯科医院
林下富貴先生

2023.8.18『青春プレイバック』
諫早市 大久保潔重市長

RAINBOW FM RADIO PROGRAM

NOW ON AIR !

放送日／毎週土曜日 18：15 ～ 18：30
提供／ターミナル学習室

４月からスタートしたターミナル学習室提供の番組『こんにちは』では、現役中学３年生女子が諫早在住の外国籍の方々と直接お会いしてお話を伺っています。各回インタビューに答えてくださった方々の母国語の挨拶も登場するのでお楽しみに♪

Q1. 番組担当者の自己紹介をどうぞ。

附属中３年の中川内美悠（なかがわち みゆう）と、長崎日大中３年の清水優伊（しみず ゆい）です。ちなみに、私たちは、小学校５年生からの大親友です！！

Q2. 番組提供の「ターミナル学習室」とは？

ターミナル学習室は、「学校の応援団」として、子どもたちの学び残しを補う取組を行う団体です。学習室の子どもたちは、授業でつまずいた問題や苦手教科の教材を持ち寄り、ボランティアスタッフと一緒に学びに向かい合っています。令和５年度から、外国籍の子どもたちを学習室に迎い入れ、日本語教育の支援をしながら、日本の子どもたちと多文化・多言語理解を深める試みを行っています。

Q3.『こんにちは』はどんな番組ですか。

様々な外国籍の方々との交流を通して、国際理解を楽しく深めていく番組です。共に諫早に住む日本の皆さんと外国籍の皆さんの架け橋のような存在になればと思います。
外国籍の出演者からも、「自国の文化の魅力を多くの人に伝える発信する機会を与えてくださいまして、本当にありがとうございました。このラジオ番組を通して、他国と自国の文化などの違いを理解し合うことができれば、きっと日本人と外国人が一緒に平和に幸せに暮らせる共生社会が実現できるのではないかと思います。」というお声を頂いています。

Q4. 番組がスタートしたきっかけは？

諫早市には、現在、仕事や勉強など縁あって、およそ千人の外国から来られた方々が、住んでおられます。日本人を含め諫早在住の国籍の異なる皆様が、生活習慣や言語の壁を越え、互いに良さや違いを理解し、助け合いながら生活していく必要があると考え、情報番組をスタートさせて頂きました。

Q5. 番組制作で気を付けていることは？

外国籍の方とお話をするときは、その国の良さや魅力的なところが引き出せるように、インタビューさせてもらっています
外国籍の出演者からも、「ラジオの完成度はとても高く、中学生の二人の声も聞き取りやすかったです。みゆうさんやゆいさんとお話しができて、嬉しかったです。」というお声も頂いています。

Q6. 番組制作で特に面白かったことや大変だったことなどありますか？

面白かったことは、インドの方の話題に、お店で商品に貼ってあるラベルの漢字が読めずに、油と間違えて酢を買ってきてしまい、「日本の油は酸っぱいな」と１週間料理を続けていたことをお聞きし、笑ってしまいました。
大変だったことは、日本語が十分に習得されていないベトナムの方がラジオ出演された時です。何とかお話を聞き出そうと、お互いにスマホの翻訳機能を駆使しながらインタビューを進めました。

Q7. 今後やってみたいことは？

もっと、いろいろな国の方々と交流して、一層、国際理解を深めていきたいです。また、色々な国々のお話をお聞きし、それぞれに日本にはない良さを感じました。ぜひ、機会があれば、実際に旅行をし、見識を深めたいです。

Q8.face 読者さんにメッセージをどうぞ！

実際に多文化に触れてみて、外国籍の方々への壁がなくなったような気がします。
あと私たちの日常生活でも、年齢や立場を問わず、楽しく会話できるようになりました。
これからも、ラジオを通して、色々な国の魅力を伝えられるよう、頑張っていくので、皆さんも、時間があれば、ぜひ、聴いてみてください。

KONGETSU no HANASHIYASAN

今月の話屋さん

RAINBOW FM
Radio Personality's
Voice !

パーソナリティ
太田 陽 OOTA AKIRA

【出演番組】
毎週月～金曜日 7:00 ～『なないろ Morning』
毎週月曜日 18:00 ～『シームレス学園』
毎週火曜日 18:00 ～
『あきらとときどきヒロ＆クロのブラック ××』
毎週火曜日 21:00 ～『陽と狸の諫早サッカー夜話』
毎週金曜日 12:00 ～『face to face』

「シン・〇〇〇」ってタイトルの話題作がありますが、あの「シン」って何でカタカナなんでしょう？
漢字に変換したら何なのか？新？真？神？あえてカタカナだからいろんな想像してしまうのでしょうね。例えば「新聞」をあえて「シン・聞」みたいな。
そもそも新聞はなんで「新しい」に「聞く」なん？って話だけど。「新しく聞いた話」を読み物にしたことが由来になるらしい。
んで、「シン・聞」ってどうよ？「シン」を「真」とでも変換したならば「真を聞いた話」ばい。これはこれでこの記事読みたくなるよね。「神」って変換した日にゃもう「神のお言葉」になるけどね。
「シン・アキラ」…興味ある？